



学校再開 子どもたちの元気な声が響いています

4月6日に入学式・始業式が行われた後、緊急事態宣言を受け、10日から再び学校は臨時休業に入っていました。新しい学年になり、子どもたちも先生方も今年度の学習や活動に期待を膨らませていた矢先のことでした。

日本中が、感染の拡大に不安と恐れを感じ、人との接触を減らして家を出ないようにしていた4月・5月。学校でも子どもたちと、どうつながるか、学びをどう継続していくか模索していました。この時期、保護者の皆様には、子どもたちの健康管理や家庭学習について、大変お世話になりました。学校での教材の受け渡し、家庭学習の支援、本当にありがとうございました。

臨時休業は、5月31日までという予定が短縮になり、5月18日から分散登校の開始、25日から半日授業、そして6月1日から通常日課での学校再開となりました。

静まり返っていた校舎では朝の子どもたちのあいさつの声が響きます。休み時間になると元気に校庭に飛び出していく姿があります。学校が生き生きとしてきました。

当面、感染のリスクをなるべく少なくするための「新しい生活様式」(裏面参照)でやっていきます。八幡小学校では1クラスの人数が多いので、密を避けるために、隣の教室も使って活動していく場面を設けることになりました。余っていた机やイスを運び込み、間隔をとって座ることができるようにしました。給食などで、この部屋を利用しています。



密を避けての給食(1年生)



下駄箱での学習課題の受け渡し



子どもたちが戻ってきた昇降口

これからの私たちの社会は、コロナとの共存であるとも言われています。その中でも安心して暮らすことができる日が来ることを、みんなで待つとともに、これを契機に新しい社会を共につくっていききたいものだと思います。

今後とも、八幡小学校の教育活動へのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。